

休日の運動部活動の地域移行 取組紹介

スポーツ課

○南佐久地域の取組

今年度、地域運動部活動推進事業の実践研究校（地域）である南牧村立南牧中学校では、南佐久6町村による地域移行が進められている。

- 5月** 「地域移行に向けた今後の部活動の在り方について情報交換会」の開催
 参加者：6町村教育長、南佐久管内4中学校長、6町村教育委員会担当者等
 内容：地域移行について説明（県スポーツ課）
 意見交換（各学校の部活動の現状と課題について）

- 7月** アンケート調査実施
 対象：南佐久地域の全中学生・小学校5・6年生
 目的：子どもたちの部活動に寄せる願いの把握
- ↓
- アンケートの結果をふまえて、南佐久地域の中学生がやりたいスポーツ・文化活動に参加できる環境づくりについて検討（4中学校長・担当者）

- 8月** 「第2回地域移行に向けた今後の部活動の在り方について情報交換会」の開催
 参加者：5月の会議と同様
 内容：提案「（仮）南佐久中学生スポーツ・文化活動を振興する会」の立ち上げ
 今後の運営について検討

具体的な運営方法：指導者を南佐久全体から確保する。練習場所をバランスよく配置する。地域の活性化に繋がる小海線を活用する。各町村からの負担金により運営する等。

推進パターン分類別の取組方法

- ① 成立困難な状況の活動 → 合同化を図り、地域の活動にしていく
- ② 単独で成立している活動 → 当面は現在の部活動を継続していく
- ③ スポーツ少年団等との連携が可能な活動 → スポーツ少年団等の活動をベースに中学生へ対象を拡大していく

- 11月** 活動試行予定

南佐久全体で願いを実現するために

○地域のスポーツ・文化活動として必要な条件

【運営主体の選定】

（仮）南佐久中学生スポーツ・文化活動を振興する会
 ※南佐久管内町村からの負担金により広域活動を支援いただく

【指導者の確保】

南佐久全体から指導者を確保することができる
 指導者の費用は町村からの負担金を柱に不足分は受益者負担

【会場の確保】

各中学校で偏りがないように配慮
 母体となる学校、指導者のいる地域の学校等

【移動方法】

4年後以降の平日の合同練習も踏まえ、小海線の利用を進める

南佐久「部活動の地域移行」推進例

■ スタートはスポーツ活動から

想定される推進パターン 活動（種目）の現況に応じて想定

A: 成立困難な状況の活動

- ① 現在実施している合同部活動を地域の活動として移行
- ② 部として未成立の活動を地域の指導者の確保により実施

B: 単独で成立している活動

- ① 地域の指導者の確保により、地域移行
- ② 長期的視野で、合同を模索

C: スポーツ少年団等との連携が可能な活動

- ・中学生対象の活動を、プラスする等が想定

